				(単位:千円)
産業観光局予算要求の内容		査 定 結 果		
事 業 名	事業概要	要求額	査定額	内容
知恵産業融合センター推進事業	京都経済の活性化のため、京都の特性を活かすべく、伝統産業と先端産業等の融合による新たな京都ブランドの創出や人材育成を図る「知恵産業融合センター」を創設する。 ①知恵産業融合センター運営 コーディネータの配置、研究開発支援、人材育成により新事業の創出等を促進する。 ②ソフィア伝産研究会(伝統産業と先端産業の融合化研究会)支援 京都工芸繊維大学の研究シーズと会員企業のマッチングにより、伝統産業と先端産業の融合事例の創出を図る。 <成果目標> 知恵産業融合センターの創設	27, 500	15, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査
医工薬産学公連携支援事業	京都地域における医療産業振興を図るため、京都大学医学部附属病院(医療現場)の医療ニーズと京都大学工学部・薬学部等や企業の有する技術シーズをコーディネートするとともに、医療機器・医薬品の実用化に向けた最新情報や有益な情報を提供するシンポジウムや研究会を開催する産学公連携支援活動を実施する。 22年度は「クリエイション・コア京都御車」において、23年度からは京都大学医学部附属病院構内に整備される「先端医療機器開発・臨床研究センター」内に「京都市医工薬産学公連携支援オフィス」を設置し、活動を行う。 <成果目標> 医療分野における新技術の創出、産業の集積の実現を図る。	35, 900	20, 000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査
コンテンツ産業推進事業	高い経済波及効果や市場の成長が見込まれるマンガ・アニメ、ゲーム、映画などのコンテンツ産業について、①「人材の育成」及び「ニュービジネスの創出」を支援する、②国等の関係機関と連携し、人材の交流や、その魅力等を国内外に発信する事業を実施することで、京都のコンテンツ産業の振興を図る。  <成果目標> ・京都市独自のコンテンツ産業振興事業を通じて、新規事業展開を支援する ・KYOTO CMEX2010 (KYOTO Cross Media Experience2010) 来場者8万人	30,000	20, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査

<sup>※「</sup>予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

産業観光局予算要求の内容			查	(単位:千円) 定 結 果
事 業 名	事業概要	要求額	査定額	内容
「新・京都市産業振興 ビジョン(仮称)」策 定事業	現行の「京都市スーパーテクノシティ構想」の計画期間が平成22年度に終了することに伴い、その後の中期ビジョンとして、京都市における重点的に推進する産業振興政策の基本的な考え方を示す「新・京都市産業振興ビジョン(仮称)」の策定を行う。 <成果目標> 京都経済の活性化により、雇用の創出や税収の向上を図る。	14, 000	10,000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査
中小・ベンチャー企業成長戦略支援事業	京都高度技術研究所と京都市中小企業支援センターが合併するにあたり、平成21年度に開始した本市中小・ベンチャー企業に対する成長支援事業について、企業ニーズに基づき、支援内容の充実を図る。 ①「市内中小企業のI T化」: SaaSを始めとした最適なIT利活用の促進②「市内IT企業の振興」: 市内IT企業のSaaS開発支援等 ③中小I T企業振興のための「チームASTEM」プロジェクトの実施ア新技術(個人認証、音声認識など)の導入調査イプロトタイプの開発 <成果目標> ①市内中小企業に最適なIT利活用を促進し、業績向上に寄与②市内IT企業が、SaaS事業に参入できるように支援し、京都地域の売上高の増加を目指す。 ③市内中小I T企業の企業競争力を向上させ、大手企業の業況に左右されない体質に転換するとともに、収益の改善を図る。	26, 300	8, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査
産業技術研究所整備事 業	新研究所開所のために必要な建物取得費及び移転費等整備費をはじめ、イノベーションプラン2009に掲げた、研究も含めたものづくり中小企業への技術支援を更に積極的に進めるために、進展が望める研究分野に取り組むために必要な新たな機器及び市内中小企業が個別に保有することが困難な大型高精度分析機器等を導入する。 <成果目標> 立地的統合を実現することにより、両センターが培ってきた得意技術の進展・融合を図り、ものづくり産業に幅広く対応できる技術支援の強化と新事業創出に向けた取組の強化を行う。	4, 975, 831	4, 690, 000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査

産業観光局予算要求の内容		査 定 結 果		
事 業 名	事業概要	要求額	査定額	内容
上海国際博覧会出展	国際博覧会としては過去最多の7,000万人の入場者が予想される2010年上海国際博覧会に出展し、京都の魅力を中国及び世界へ発信する。 ①日本館への出展 日 時:平成22年10月16日(土)~21日(木)6日間 場 所:日本館イベントステージ 内 容:①京都府との共同出展 ②長い歴史に培われた伝統芸能・産業、先端産業及び環境先進地である京都の取組み等を紹介 ②大阪館への出展 日 時:平成22年5月1日(土)~10月31日(日)(184日間) 万博開催期間 場 所:大阪館内 関西都市魅力コーナー 内 容:関西の各自治体と連携して出展し、関西の魅力及び京都の魅力をPRする <成果目標> 日本館…6万人(6日間)大阪館…140万人(会期中 想定入場者数)	25,000	17, 500	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査

産業観光局予算要求の内容			查	査 定 結 果	
事 業 名	事 業 概 要	要求額	査定額	内容	
中小企業パワーアッププロジェクト	平成21年度に開始した中小企業パワーアッププロジェクトにおいて、企業から要望が多い経営改善や販路開拓、技術マッチングなどに対応するため、支援体制の充実を図る。 ①企業パワーアップ支援体制の確立 「企業パワーアップアドバイザー」を増員し、課題解決を加速させる。 ②販路開拓・技術マッチング支援事業 (1)企業を訪問し、市内中小企業の技術マッチングを推進、(2)大手企業0Bの人的ネットワークの活用等により、大手・中堅企業、市外企業、海外への販路開拓を支援する。 ③先進企業の「オスカー認定」制度 先進企業を対象に「オスカー認定」制度を設け、認定企業には異業種交流や情報発信、産業支援機関によるフォローアップ等の支援を提供し、成長を加速させる。 <成果目標> 新規企業(200社目標)を訪問し、課題の把握や対応を行うことにより、支援企業の成長による産業の活性化を図る。	31, 910	18, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査	
海外の市場ニーズに対 応した京都観光情報 ウェブサイトの構築	京都市においては、「観光文化情報システム」より、日本語を中心にインターネットを通じた観光情報の発信を行っている。また、英語、中国語(繁体字)、ハングルについては、一部の観光情報の発信を行っているものの、日本語サイトと比べ情報量が極端に少ないのが現状である。また、平成19年4月に、京都市観光協会や市内の観光事業者と共同で、英文観光ホームページ「Kyoto Official Travel Guide」を開設し、外国人観光客に人気の高いスポットや最新イベントなどの選りすぐりの情報提供を行っている。今後、これらインターネットによる観光情報のより一層の充実が求められる中、両サイトの見直しを行うことにより、多言語化をはじめ、海外の市場ニーズに対応した、より訴求力のある情報発信を総合的に行う必要がある。  <成果目標> 海外の市場ニーズに対応した京都観光情報ウェブサイトの構築	15,000	6,000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査	

産業観光局予算要求の内容			査 定 結 果	
事 業 名	事業概要	要求額	査定額	内容
旅の本質を追求する京 都観光総合調査の実施	「未来・京都観光振興計画2010 <sup>+5</sup> 」において、「質」の向上を図る方向性を打ち出す予定であり、事業成果を検証するうえで、京都観光の「質」をはかる新たな指標が必要となることから、「観光客の満足度調査」を新たに実施する。その際、現在、十分なデータが収集しきれていない外国人観光客について調査内容を充実させる。また、観光庁が平成22年度から全国統一の共通基準に基づく観光入込客統計・観光消費額統計の実施を計画していることから、本市においても現在の調査内容を共通基準に合わせたものに変更する。 〈成果目標〉・京都観光の「質」を測る指標の導入・外国人観光客についての調査の充実・全国統一の共通基準に合わせた観光入込客統計・観光消費額統計の実施	30, 000	11, 000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査
京の七夕事業(仮称)	京都仏教会からの提案を受け、夏の閑散期対策として京都府、商工会議所等とともに オール京都体制で、京友禅にゆかりの深い堀川エリア(市立音楽高校、二条城、西陣織会 館等の周辺を含む。)や鴨川エリアを中心に、ねがいをテーマとして旧暦の七夕の時期に 開催する。 <成果目標> 来場者数100万人	50,000	50,000	■要求どおり □積算内容精査 □事業内容精査
「映画のまち・京都」 にふさわしいロケ支援 の充実・フィルムツー リズム	①ロケ支援の充実・強化 京都の持つ「ほんまもの」の魅力を映画やテレビ等の映像を通じて、内外に発信することを目的に、「京都市ロケーション・ヘルプ・デスク」を開設し、ロケ支援を行ってきた。これをさらに充実させるため、平成21年度に設立した「京都映画文化会議」や、「京都市フィルム・オフィス」において、以下の事業を実施し、ロケ支援の一層の充実・強化を図る。・京都ならではの文化や人の情報収集、発信・「映画のまち・京都」のPR、啓発活動②フィルムツーリズム推進事業「日本映画発祥の地」である京都の魅力を最大限に生かしたロケ地情報の発信、魅力PRを行い、ロケ支援に併せて、これまでに京都で撮影された映画・ドラマのロケ地の紹介等を、インターネットを通じて発信することで、ロケ地めぐり観光「フィルムツーリズム」を推進する。 <成果目標> 映像を通じて京都の魅力を広く発信する。	10, 000	3, 000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査

産業観光局予算要求の内容			查	査 定 結 果	
事 業 名	事 業 概 要	要求額	査定額	内容	
「歩いて楽しいまち・ 京都」観光案内標識 アップグレードプロ ジェクト	観光客や市民の案内・誘導のための案内標識の充実を図る。 具体的には、案内標識の種類や設置場所、誘導内容(観光地や鉄道駅など)、表記内容 (距離、時間、ピクトグラム、多言語化)やデザインなどについてあらゆる観点から検討 を加え、ガイドラインを策定して、全市的に整備を進める。 また、ガイドライン策定と並行して、モデル地域での先行実施も検討する。 <成果目標> 案内標識のガイドラインの策定及び、モデル地域での先行実施	5, 000	5, 000	■要求どおり □積算内容精査 □事業内容精査	
市民による京都の魅力再発見事業	京都市民自身が京都の魅力を知り、学び、楽しむことが「市民参加によるおもてなし観光」の実現につながるという観点から、以下の事業を実施する。 ① 市民の京都魅力体験 ② 京都観光副読本の作成 ③ 京都観光サポーター制度の構築 <成果目標> ・「市民参加によるおもてなし観光」の実現 ・観光ボランティア1000人(平成23年度)	25, 000	8, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査	
大規模国際会議誘致助 成金	京都における国際会議の誘致を促進するため、京都での国際会議の開催を検討している 国際的な各種団体等が、他の候補地との誘致競争を勝ち抜いて、京都での開催を決定する ために必要となる、広告宣伝費などの誘致活動費に対して助成金を提供する。 <成果目標> 京都市コンベンション開催件数の増加に伴う京都の都市ブランドの向上	5, 000	3, 000	□要求どおり ■積算内容精査 □事業内容精査	
2010年日本APEC財務大 臣会合開催支援事業	平成22年11月開催予定のAPEC財務大臣会合を支援し、地元京都の魅力を発信するため、府・市・商工会議所の地元3者で歓迎行事を実施する。 <成果目標> 本市の都市ブランド及び知名度向上	20,000	20, 000	■要求どおり □積算内容精査 □事業内容精査	

<sup>※「</sup>予算要求の内容」欄の事業概要等は、査定を通じて変更していることがあります。査定後の事業概要等は、「京都市予算の概要」を参照してください。

産業観光局予算要求の内容		査 定 結 果		
事 業 名	事業概要	要求額	査定額	内容
越畑「棚田の里」整備事業	①里力再生事業 担い手,基盤整備,過疎化等の諸課題を解消する地域再生計画の策定等を行う。 ②生産基盤整備 平成22年度においては農道・水路等のハード整備や整備に欠かせない測量・設計業務等 を行う。 <成果目標> ・認定担い手農家数 50%増(現在3名+1法人→5名+1法人) ・担い手作業受託面積 48%増(現在210 a →310 a) ・担い手農地集積面積 80%増(現在476 a →859 a) ・まつばらの来訪者数 5%増(現在20,000人→21,000人)	152, 640	152, 700	■要求どおり □積算内容精査 □事業内容精査
地域産材普及供給体制 整備事業	①市内産木材の生産・流通・建築・消費関係者による木の文化を具体化する推進委員会の立ち上げ。 ②地域産木材のストック情報システムの構築に向けた具体的検討。 ③「みやこ杣木」を使用した新築住宅に、奨励金を交付。 <成果目標> 地域産木材による新築戸数を平成26年までに250棟の需要を掘り起こす。平成22年度はモニター事業として5棟を先行し、確認検査体制の検証を行う。	8,000	5, 000	□要求どおり ■積算内容精査 ■事業内容精査